

仏政治家の好感度、エコロジー党首ジャド氏の人気急上昇



5月30日、欧州議会選挙の翌日に行われた世論調査で、ヨーロッパエコロジー・緑の党（Europe écologie Les Verts : EELV）の党首、ヤニック・ジャド（Yannick Jadot）氏が政治家の好感度で初の首位になりました。

欧州議会選で好感度20ポイント上昇 - エコロジー党首ジャド氏初の首位に

欧州議会選挙直後、調査会社オドクサ（Odoxa）が行った世論調査によると、フランスの政治家の好感度でヤニック・ジャド氏は20ポイント上昇し、32%の支持を得て初の首位となりました。

ジャド氏に続くのは、極右の国民連合（Rassemblement National）党首マリーヌ・ルペン（Marine Le Pen）氏、現外務大臣ジャン＝イヴ・ルドリアン（Jean-Yves Le Drian）氏が共に28%、保守派共和党（Les Républicains）のローラン・ヴォキエ（Laurent Wauquiez）氏はヨーロッパ選挙での大敗から5ポイント減の13%、極左不服従のフランス（La France insoumise）党首ジャン＝リュック・メランション（Jean-Luc Mélenchon）氏も2ポイント落とし20%にとどまっています。

5月26日に行われた欧州議会選挙では、ルペン氏率いる極右の国民連合（23.3%）がマクロン大統領の共和国前進党（La République en Marche）および国民運動党（MoDem）の二党共同（22.4%）を僅差で抜くなど右傾化が騒がれています。しかし一方でヤニック・ジャド氏率いるヨーロッパエコロジー・緑の党が期待を大幅に上回る13.5%の得票で3位になったことが話題になっています。

環境問題の取組みを欧州議会に期待 - 35歳未満の若年層が支持

欧州議会最大の96議席を抱えるドイツでも、環境政党緑の党（Die Grünen）が前回2014年の倍にあたる20%を獲得しています。

フランスでは18～24歳の25%、25～34歳までの28%がエコロジー党に投票し、ドイツでは30歳未満の33%が緑の党に投票しており、環境問題に対する若者の関心の高さが国境を越えてうかがえます。

執筆：マダム・カトウ

写真：wikipedia fr

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

